

大風 便り 第51号

大風会館HP <http://oodako.net/>

ブログ発信中 <http://oodakomuseum.shiga-saku.net/>

編集・発行 世界風博物館八日市大風会館 平成22年8月27日発行

〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町3-5

TEL: 0748-23-0081 FAX: 0748-23-1860

IP: 050-5801-1140

開館時間: 9時~17時 休館日: 毎週水曜日、第4火曜日、祝日の翌日

平成18年度から指定管理者制度により(財)東近江市地域振興事業団が管理しています。

毎週第3日曜日は「家族ふれあいサンデー」 東近江市民の方は、「ふれあいカード」をお持ちの上、家族でお越し下さい

2011年~2013年八日市大風まつり飛揚

新100畳敷八日市大風 判じもん:「心身 健やか」完成



2011~2013年にかけて「八日市大風まつり」で飛揚する100畳敷八日市大風(縦13m、横12m)の製作が3年ぶりに行われ、2010年7月10日(土)に行われた「のりつけ式」から紙継ぎ→下絵→墨入れ→色つけ→骨組(枠・菱・絵骨)→切り抜き→合体と約1ヶ月をかけ行い、8月13日(金)に最後の作業である「化粧塗り」を行い完成しました。製作には、東近江市文化団体連合会、東近江青年会議所、東近江市PTA連絡協議会、東近江市女性会、八日市大風まつりのミニ八日市大風コンテスト参加チームなどから延べ616人の多くの参加があり、延べ日数:28日間で完成しています。新しい100畳敷八日市大風の絵柄は、テーマ「健康」で図柄募集し、応募された作品56点の中の優秀賞2点を参考にしたもので、上部左右に辰の絵を描き、下部に「健」の文字が描かれています。併せて、「心身(辰辰) 健やか」となります。また、大きく描かれている「健」の文字は、次代を切り拓く作家として幅広く活躍され、ウイスキーの「響」のロゴや大河ドラマ「新選組!」の題字などで知られる墨象家:荻野丹雪先生に腕を振っていただきました。

製作した大風は、2011年八日市大風まつり(2011年5月29日開催)に会場:東近江市愛知川河川敷で飛揚する予定です。

荻野丹雪 profile

1939年兵庫県丹波に生まれる。グラフィックデザインを主な仕事としながら、1970年頃から書の道に傾注。多数のグループ展の他、数々の個展で作品を発表。伝統的な書や墨をベースとした純然たる文字作品から抽象画まで。また、商品デザイン及びマスメディアにおいて制作した数多くの作品のなかには、ウイスキーの「響」のロゴ、花博「咲くやこの花博」NHK連続テレビ小説「あすか」大河ドラマ「新選組!」の題字等がある。

製作中の様子



＝カブトムシの凧作り教室を行いました＝



今回は、8月21日に開催しました「カブトムシの凧作り教室」についてお伝えします。当日は朝から日差しもきつく、風もあまりなかったのでこどもさん達はしんどいのでは・・・とと思っていましたが、皆さん元気いっぱい凧作りに参加してくれました。凧は全長1メートル程の大きなサイズなので小さいお子さんにはすごく大きく見えたのではないのでしょうか！まずは凧に色を塗っていくところからです。見本の凧には主に茶色が塗ってあるのですが、黄色やピンク、青といった色の



絵具も用意してあったので、全体をピンク色に塗ってその上からいろんな色の絵具を落としている子がいたり、間接ごとに色分けして塗っている子もいたりしてユニークな凧がたくさん塗りがりました。乾かすのに毎回凧を洗濯バサミで吊って乾かしますが、今回は参加人数も多かった为中と外で凧干し

(笑)を行って外に干した凧は微風の中ひらひらと泳いでいました。後半はお父さんお母さんのお仕事！カブトムシの凧は骨がたくさんあるのと裏表があるのでたくさん質問がありました。竹も最近の方はあまり触る機会がないようで(私もそうですが)、裏表逆につけている方もおられたので急いで付け直したりして後半は忙しかったです。でも最後に出来上がった時は皆さん笑顔で喜んでおられましたよ！そして出来あがった凧を持ってみんなでハイポーズ！！夏休みの良い思い出になったと思います。今回は幼稚園児・保育園児や小学校低学年の子たちが多かったのですが、会館職員の説明を受けたお父さんお母さんにちゃんと教えてもらってやっていたのが印象的でした。また次回もご参加お待ちしております♪



い出になったと思います。今回は幼稚園児・保育園児や小学校低学年の子たちが多かったのですが、会館職員の説明を受けたお父さんお母さんにちゃんと教えてもらってやっていたのが印象的でした。また次回もご参加お待ちしております♪

＝織田信長の悟り絵から判じもんへ！＝



2011年から3年間、八日市大凧まつりで揚げる新100畳敷大凧が延べ616人の参加を頂き完成しました。ご参加いただきました皆さま、お疲れ様でした。1人ひとりの力と願いが結集した大凧が5月の空に悠揚と舞うことを祈願しています。新しい図柄の判じもんは、上部に2頭の竜が正面を向いて「辰辰：しんしん」、下部に朱色で健の文字を書き、「心身 健やか」のメッセージが込められています。八日市大凧は、江戸時代の中頃から男子出生を祝って5月(端午)の節句に半紙十数枚程度の大きさの紙に家紋を描き揚げられたと言われていました。上部に墨の濃淡で鳥や魚などの図を、下部に文字を朱で書き、図柄と文字の組み合わせに意味をもたせた「判じもん」がいつ頃から八日市大凧に取り入れられたかは不明です。八日市に隣接している安土町(現在の近江八幡市)の総見寺絵馬堂には、判じもんと同種の「織田信長の悟り絵」が伝えられています。この悟り絵は、織田信長が安土城に入城し本能寺で亡くなるまでに、絵師狩野永徳に描かせたとされています。八日市と安土の交流があったこの時代に同じ文化があっても不思議ではありません。先人から受け継ぎ、国の選択無形民俗文化財となった東近江市の宝「八日市大凧」を次の世代に確かな形で引き継いでいくことが私たちに託されています。

＝凧：法政大学所蔵：比毛一朗コレクション展＝



法政大学で7月6日から8月5日まで開催された「比毛一朗コレクションの凧展」に最終日である5日の日に行ってきました。比毛さんは日本、世界の凧について調査研究された方で日本の凧の会の発起人でもあります。私が大凧会館にお世話になった最初の年である平成4年に「韓国凧」のことについて色々教えて頂きました。



平成15年に亡くなられ、ご遺族が大学にコレクションを寄贈され、今回展示会が開催されています。コレクションの一部が展示されていますが、どれも貴重な凧ばかりです。その中には保存会3代目大西清会長作の八日市の凧の展示もありました。

2010年八日市大凧まつり

＝写真コンクール展＝

応募点数409点 応募者数150名



5月に行われた八日市大凧まつりから早くも3ヶ月が過ぎようとしています。会館には、まつりが終了してからしばらくして毎日のように写真コンクールの作品が送られてきました。どの作品も作者の気持ちのこもったものばかりで、大凧だけでなく様々なまつり当日のドラマが写されていました。今年の総評は、「今年は、例年にもまして天候に恵まれたこともあり、大凧まつりに適した青空が出ていることから非常に明るかったです。近年、これほどの青空が出たことは無かったのではないのでしょうか。このことが幸いし、今年も素晴らしい作品の応募がありました。」とのこと・・・。確かに青空をバックに凧だけでなく、かかわっている人達も生き生きと写されていました。皆さんにも是非これらの作品をご覧になってほしいと思います。写真コンクールの作品は、9月11日(土)に受賞者の表彰式が行われ、その後全ての作品が展示されます。

表彰式 9月11日(土)午後2時～
大凧会館別館にて

写真展 9月11日(土)～26日(日)まで
毎週水曜日・祝日の翌日休館日
大凧会館別館にて 別館のみ無料で入館頂けます。

＝ぐるっと滋賀東おうみスタンプラリー＝

東おうみをぐるっと自由に！
歴史・文化・自然を肌で感じながらめぐるスタンプラリーです。
スタンプ4つ そろえて、東おうみを堪能しよう！

あなたの心には
美味しい
東おうみ！

あなた発見ランド、東おうみへ旅・たび・来てね。

近江八幡市・東近江市・日野町・竜王町の東近江地域の観光地から4カ所のスタンプを集めて応募すると、東近江地域のホテル・ペア宿泊券や近江牛などの特産品が当たります。平成23年2月15日まで

＝2010年9月の予定＝

- 4日(土) 平成22年度チャレンジ“大凧”2020
8畳大凧作り 「のりつけ式」 11月まで
- 11日(土) 2010年八日市大凧まつり写真コンクール表彰式
- 11日(土)～26日(日) 2010年八日市大凧まつり写真コンクール作品展示
- 14日(火) 玉園中学校 2畳大凧作り指導
- 19日(日) 家族ふれあいサンデー
- 30日(木) 甲南第1小学校1年生 見学

聞いていただいていますか!? Radio Sweet 毎月第4土曜日 10:00～10:30 「とりいちゃんの聞いてみよう!行ってみよう!」
♪♪♪八日市大凧会館の話題から地域の話題まで、聞いて実際に試してみてください。周波数は81.5MHzです♪♪♪♪♪